



What's Up, OITA!

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

令和7年11月11日～12日に知事がアメリカにて、グローバル人材の育成などの人的交流の促進及び観光誘客・県産品の販路拡大に向けた、トップセールス等を実施しました。



～米国西海岸交流促進ミッション～

〈主な内容〉

- ・スタンフォード大学訪問
- ・北カリフォルニア日本商工会議所訪問
- ・ジェトロ・サンフランシスコ事務所訪問
- ・サンフランシスコ市長訪問
- ・公式レセプション「Experience Oita」



スタンフォード大学国際異文化教育プログラム(SPICE)訪問



スタンフォード大学創業医療機器開発研究所訪問



北カリフォルニア日本商工会議所訪問



ジェトロ・サンフランシスコ事務所訪問



サンフランシスコ市長訪問



「Experience Oita」

きらめく日本美術 1300年の至宝

～Sparkling Japanese Art: 1300 Years of Treasures～

大分県国際交流員

ブーテル・ローザ
リン・アリシアナ



インパクトある大分県立美術館『OPAM』のCMが気になり、
また日本をより深く理解できる機会かも!と思い「きらめく日本美術
1300年の至宝」展に行ってきました。

神と仏の共存

一般的に神道と仏教のものは分けられていることが多いので、
同じ場所にあることは珍しく、神道の神輿の内部に仏教の法華経
絵が描かれていたことにとっても驚きました。仏様などの聖者へ信仰
する仏教、自然や祖先、神々へ信仰する神道の考えがそれぞれ響
き合っていて、とても興味深く感じられました。



【法華経の障子絵】

《展示会のチラシより》



ぞうがなんばんじんもんあぶみ 象嵌南蛮人文鐙



【拡大図】
宝船の船首が
見えるかな？

鐙（あぶみ）とは、馬に乗るときに足
を乗せる部分のことです。

南蛮の影響を受けているため、珍しい
デザインで、前面には富や財をもたらす
縁起が良いという意味の南蛮船や南蛮
人の絵が描かれています。当時の日本
が西洋の様式を取り入れて、新しい表
現を試していたのではないかと感じら
れます。

時代を超える教え

会場内を見ていると、この絵に目が留まりました。一つ目小僧の妖怪が
盲目の琵琶法師に怖いだろう!と自慢すると、琵琶法師は「私は目が見え
ないので、より怖いでしょう」と返答したというエピソードを表しているそう
です。表面的なことだけで判断せず、ちゃんと心の目で見えて本質を理解す
べきという教えでしょうか。現代にも通じるこのメッセージが、未来の世代の
ために大切に守り伝えられていることを知ることができて嬉しかったです。



ダルマの正体は！？

これまでダルマは「目標達成を手助けしてくれる」存在だと思っていましたが、実は厳しくも真面目なお坊さんだったということにとってもびっくりしました！人間らしい一面を持ちながらもデフォルメされた表情のダルマの強い目を見ると、ダルマの目入れに込められた力強い決意を改めて実感しました。



【まさかお坊さんだったとは！】



【強い眼力に圧倒！】

覚悟の一刀

左下に描かれている僧侶は、修行に入っていた達磨の弟子になろうとしましたが、まったく相手にされませんでした。そこで決意を示すため、自分の腕を切り落とし、ようやく入門を許可されたのです。

パフォーマンスで切り落とすマネをしたのかと思いましたが本当に自分の腕を切り落としたことに驚きました。達磨の修行が終わるまで待つから弟子入りを願い出てもよかったのでは？と思いますが、それほど達磨が厳格だったからなのかもしれません。僧侶の表情はまるで「絶対に決意を見せてやる！」と言っているように感じます。



達磨

僧侶

魅力的な日常の表現



【お弁当を持って【竹田の自然の中で現在で言うキャンプ】【馬をねぎらうため量のある家の中に？！】お出かけ】

日常の何気ない情景にも心を打たれました。どの時代・どの国でも、人は動物や自然、そして日々の暮らしに魅了され続けるものだと感じ、胸が温くなりました。未来では私たちが現在過ごしている日常も美術館で絵として表現されるのでしょうか？

日本に住んでいる外国人として、昔から続いている海外との交流を行った証拠である作品や出土品を見られて嬉しかったです。歴史と芸術への熱い思いが伝わってきました。この展示のように、私たちの日常も、そんな情熱や魅力があるアートで満たされていけばいいなと思います！

【ブーテル・ローザ】

展示を見終わったとき、「日本には本当にたくさんの伝統美術があるんだな」と思いました。木造の仏像や刀、絵画、陶器など、歴史の深さが尽きることがないように感じられました。絵画から多くのことを学べて、芸術に詳しくなくても、とても楽しめる体験でした。

【リン・アリシアナ】

News from Hiji Town

日出町からのお知らせ

日出町
ホームページ



日出町と台湾新竹市は友好交流協定を締結しました！

日出町は、令和7年7月4日に台湾新竹市と友好交流協定を締結しました。町長をはじめとした7名の訪問団で新竹市へ赴き、観光、文化、産業、教育の4つの分野で交流を促進することについて、双方で確認しました。

今後については、お互いの都市を行き来するなど交流を深めていく予定です。



News from Kokonoe Town

九重町からのお知らせ

九重町
ホームページ



笑顔と挑戦で世界をもっと近くに モンゴル国際交流事業 2025.8.2~8.7



モンゴルの広大な自然に感動 現地の子どもたちと交流

参加者は、それぞれに明確な目標をもって事業に臨み、多くの学びと刺激を得て帰ってきました。以下に、その一部をご紹介します。

・「和食の料理人を目指しており、食を通じて国境を越えて人々に喜んでもらえる料理を届けたいです。」

・「モンゴルの平均寿命は60~70歳台と日本より短く、予防医学の概念が十分に浸透していないことを知りました。同時に、日本の公的医療や予防医学の発達にも改めて気付かされました。」

・「文化の違いを肌で感じ、地理的・歴史的な背景を踏まえることで、これまで大切に受け継がれてきた文化の尊さに気付きました。文化を守り、国として豊かになることの大切さを実感しました。」

立命館アジア太平洋大学留学生との ホームステイ事業 2025.9.18-20

町内の小中学校に通う児童・生徒のいる家庭を対象に事業を行いました。

言葉の壁を越えて交流することで、相手に伝える工夫や聞く姿勢、思いやりや相互理解の大切さを学びました。



留学生による
プレゼンテーション
(ホストファミリーの声)



ホストファミリーと
地域のお祭りに参加

“子どもは、自分たちの知っている語彙を並べて、どうにか意思疎通を図りたい!という気持ちが芽生えてきた気がします。世界が広いことに感動していました。”

“英語がしゃべれなくても、一緒に過ごせるし楽しい。外国人だからとみがまえる必要はないこと。自分のことばかりでなく相手に合わせるということを学んだ。”

News from Kusu Town

玖珠町からのお知らせ

玖珠町
ホームページ



人工衛星を活用したブランド米 「くす天空の輝き」デビュー

本年度から人工衛星を活用した米づくりが本格的に始まり、初収穫を迎えました。この取り組みは、令和4年度より農家所得向上を目的に始まりました。

品種は「ひとめぼれ」で「米の食味ランキング」で4年連続特Aを獲得しています。その品種を活用して、人工衛星画像などから、水稻の状態を解析するシステムを導入。水稻の管理や収穫時期などの見極めに活用しました。

また、収穫した米の1等米の中から、タンパク質含有量の低い米を厳選して、2ミリのふるいで選別した米が「くす天空の輝き」となります。

豊かな香りと甘みを感じるおいしさが味わえる大粒の米になっています。ぜひこの機会にお試ください。

販売は、くすこのえ産直ネットで行っており、販売価格は、2キロ3,980円(税込み)です。



くすこのえ産直ネット
ホームページ



News from Yufu City

由布市からのお知らせ

湯布院・庄内・挾間
公式旅ガイド



ふるさと納税で由布市に泊ろう！ ゆふ旅しませんか？

「由布院温泉」をはじめ、市内5つの温泉が「湯布院温泉郷」として国民保養温泉地に指定されています。宿に泊まって四季折々の由布の風を感じながらゆったりとした時間をお過ごしください。



ココロ踊る 魅力発見スタンプラリー in ゆふ 第2弾 開催中！ ～2026.2.15まで

由布市内5地域の温泉施設が対象となるスタンプラリーを開催中。スタンプの獲得数に応じて抽選で50名様に豪華賞品が当たります。

この機会に由布市を巡ってスタンプをゲットしましょう。



「湯の花」って何？



イギリス国際交流員
ブーテル・ローザ

(写真提供:湯の里様)



大分に引っ越して間もない頃、お土産店で「湯の花」のコスメを見かけ、「これは何だろう？」と気になっていました。答えを探しに明礬温泉を訪ねてみると、「湯の花小屋」が今年でなんと創業300年を迎えるそうで、現在も小屋の中に天然の原料を手作業で採取しています。

現在「湯の花」と呼ばれる天然入浴剤は、江戸時代には「ミョウバン」と呼ばれ、徳川幕府の直轄地で作られていました。その伝統的な製法は今も受け継がれ、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

(写真提供:湯の里様)



見学用の湯の花小屋



「湯の花」ってこういうものなんだ！



湯の花コスメ

湯の花とは？

「湯の花」は、地面から約30センチほど深く充満している湯けむりと青泥の化学反応によってできる結晶です。小屋の中で1日わずか約1ミリずつしか成長しません。他の地域とは異なり、明礬温泉では温泉けむりを利用して作るのが特徴です。

この結晶をお風呂に入れると、リラックス効果はもちろん、肩こりや筋肉痛などにも評判が良いです。また、「湯の花」のコスメも大人気で、使用すると温泉に入った後のようなツヤツヤお肌をキープできそうですね。

明礬の美しい自然の中に並ぶ「湯の花小屋」は、とても見ごたえがありました。

昔は300棟ほどあった小屋が、現在15棟までに減りましたが、この明礬の風景は文化的景観として守られています。

屋根は地元のワラや竹、木のみで手作りされ、蒸気の影響で3年ごとに職人さんが葺き替えるそうです。また、一番大きな小屋は約4メートルの高さがあり、中の温度は50度まで上がることです。

屋根のワラ

明礬の湯の花小屋を訪れ、手作りの天然化粧品の価値と、伝統を守る職人の努力に心を打たれました。ぜひ実際に訪れて、その魅力を感じてみてください♪



職人の技で作られた湯の花小屋



初めての耶馬溪なので、「やばはく」というツアーに参加しました。初秋のごろ、暑くも寒くもない心地いい天気で、背中まで新鮮な空気を吸い込んで、は～と吐いてすっきりしました。



今年は10月まで残暑が続き、紅葉はまだだろうと思いながら行ってみると、あちらこちらでぽつぽつと赤く染まり始めていたのです!今回は、そんな耶馬溪の景色を紹介します。



ちなみに、中津駅から出て早速目に入ってきたのは、一万円札です!耶馬溪がある中津市は、福澤諭吉の生まれ故郷でもあるのです!

ツアーは、青の洞門、競秀峰、天人橋の鎖渡しと国東塔のある古羅漢探勝ルートでした。

青の洞門(あおのどうもん)って?

江戸時代、荒瀬井堰が造られたことによって山国川の水がせき止められ、樋田・青地区では川の水位が上がりました。そのため、通行人は競秀峰の高い岩壁に作られ鉄の鎖を命綱にした大変危険な道を通っていたそうです。



諸国巡礼の旅の途中に耶馬溪へ立ち寄った禅海和尚は、この危険な道で人馬が命を落とすのを見て心を痛め、享保20年(1735年)から自力で岩壁を掘り始めました。禅海和尚は托鉢勧進によって資金を集め、雇った石工たちとともにノミと鍬だけで掘り続け、30年余り経った明和元年(1764)、全長342m(うちトンネル部分は144m)の洞門を完成させました。この地区は古来より「青」という地名なので、「青の洞門」と名付けられたのです。

自力で岩壁を掘るという、今ではとても考えられない作業を、30年間続けていた禅海和尚。オフィスで7時間の勤務だけでも疲れてしまう私とでは、目に映っている耶馬溪が同じ景色なのでしょうか。

青の洞門をくぐり、競秀峰探勝道に沿って山の中へと入っていきます。

競秀峰(きょうしゅうほう)は、耶馬溪でも屈指の名勝です。その景観は、樋田側から一ノ峰、二ノ峰、三ノ峰をはじめ、恵比須岩・鬼面岩・大黒岩・妙見岩・殿岩・釣鐘岩・陣ノ岩・八王子岩など、集塊岩の巨峰や奇岩群が約1キロにわたって連なっています。私はその中のいくつかを、鎖場を伝って登りました!



お地蔵様にコーヒー?笑



中国の時代劇の映画によく出てくるような洞窟がたくさんありました。映画のシーンに思いを馳せながら洞窟で休憩し、それぞれに祀られているお地蔵さまに手を合わせてから、また歩き出しました。

足を震わせながらも、なんとか頂上までたどり着くことができました。ほんの少しではありますが、当時の険しさを体験でき、あらためて今の洞門のありがたさを実感しました。





山々に囲まれたオリーブの要塞

Olive Garden

国東市 国東クリーブガーデン



韓国国際交流員
アン スヨン

クリーブのQはQuality、また九州国東の“Q”である
海岸線に面し、山々に囲まれたこの場所は、まさに国東！



WHY国東？

国東市は瀬戸内海に面した半島で、年間を通して降水量が少なく、温暖で日照時間が長いという特徴があります。このような気候条件が、オリーブ栽培に非常に適した環境を生み出しています。

大分県内にオリーブを栽培し、オリーブオイルを生産する農園があります。

大分空港から車で10分ほどの距離にある日本最大級の大きさ（福岡PayPayドーム約5個分）を誇るオリーブ農園、国東クリーブガーデンを訪れました。ちょうどオリーブの収穫時期に合わせて、収穫、選果、搾油の過程を見学することができました。

暖かい日差しが降り注ぎ、要塞のように山々に囲まれた神秘的な農園のすぐ前には、瀬戸内海の青い海が広がっています。

まるで中東やヨーロッパのような異国的な風景の中で、オリーブについての説明を聞いてみると、その魅力に引き込まれていきました。



Olive tree



1

Harvest



2

Sorting



3

Pressing



4

オリーブの収穫時期は9月末から11月までの毎年およそ2か月間です。

午前中は①収穫を行い、その後に②選果作業を経て、午後には③搾油の工程を通して④最高級のオリーブオイルが作られます。



Best Spot

🌿 5月中旬には、淡い黄色のオリーブの花を鑑賞でき、収穫時期には収穫体験も楽しめます。

将来的には、観光農園としてさらに充実させていく予定だそうです 🌿

🌿 農園見学ツアー（予約要）

料金：500円から

日時：平日・土日祝日 9:00-16:00開始

時間：約1時間

定員：1名から最大45名程度

住所：国東市国東町安国寺2797-3

お問い合わせ：0978-73-2255

時間を忘れるほど楽しい経験でした。

オリーブ栽培の話を聞いて食のありがたさを改めて感じました。

オリーブの木々を歩けば思わずうっとり。

おすすめの写真スポットです！





国宝白杵石仏

日本には歴史ある仏像がたくさんあります。母が仏教徒なこともあり、一度白杵石仏を訪れてみたいと思っていました。白杵石仏とは岩壁に彫られた61体の仏像で、すべてが国宝です。訪問時はボランティアガイドさんに案内してもらい歴史や特徴について丁寧に教えていただきました。



白杵石仏のスタンプ



ホキ石仏第二群

ここで如来・菩薩・明王・天部の位の違いを教えてくださいました。石仏は東向きで、参拝者が西に向けて祈るようになっています。遠くのお寺の方向を向いているのも意図的に作られているんだろうなと思いました。



ホキ石仏第一群

色鮮やかなお地蔵さまがいて、中央の地蔵菩薩を十王が囲ってました。地獄で苦しむ人たちを助けてくれる存在だそうです。また、願文や経巻を入れていた穴も残っていました。



山王山石仏

ここでは、三体の子どものような顔をした仏さまがいました。頭が大きくて体が小さいので、他の石仏と比べると表情がとても素朴で、かわいらしく見えました。



第一次美仏内閣

リン大臣になりました!(笑)

古園石仏

特に印象的だったのは大日如来です。長年の劣悪な環境により仏頭が剥がれ落ち、1993年に頭が元の位置に修復されました。冠をつけた珍しい如来で、目の表情からすべてを見通しているように感じました。



ガイドさんのおかげでとても楽しく見学できました。訪問されるときは案内してもらうことをオススメします。とても静かで落ち着きました。900年以上経っているのに、今でもこのように状態が良いのは本当にすごいなと思いました。

白杵せんべい手塗り体験

白杵では名物の白杵せんべいの手塗り体験もしました。小麦粉で作られたせんべいに、生姜入りの砂糖蜜をプラスチックの刷毛で丁寧に手塗りします。職人は1日に約1000枚も塗ると聞いて驚きました。私は5枚だけ塗りましたが、意外と難しくて塗り終わった頃には手が痛くなってしまいました。



塗る前のせんべい



特別な箱に入れて完成!

From our Reporters

国際交流員だより



未知の世界へ！

イギリス国際交流員 ブーテル・ローザ



最近剣道を始めました。これまで剣道と関わったことがなかったので、緊張しながらいざ道場に入ってみると、まず見て驚いたのは剣道着でした。仕事帰りの人たちが、普段の格好から面を着けると侍のような姿に変わるのがとても印象的でした。また、声を上げながら足を踏み出す時の「ドンッ！」という音もすごかったです。

未知の世界に入るのは少し怖かったのですが、大人に混じって一緒に稽古をしているという6歳の男の子が「メンツ」と大きな声を出しているのを見たとき、私もあのように自信を持ちたいと思い、思わず彼に憧れてしまいました。みんなが優しく教えてくださっているの、行くのが毎回楽しみです！「自分は世界一と思わないとダメだよ」という先生の言葉を心に刻み、これからは道場以外でも失敗を恐れず挑戦していきたいと思います！



準備完了！



迫力あるオーラ



メ～ンツ！



分からないときは聞いてみよう

中国国際交流員 金 函宇



初めて日本で秋を迎えました。故郷の秋はいつも短く、猛暑が過ぎてやっと気持ちよく出かけようと思っていたら、次の日急に寒くなったりします。大分は今年10月中旬まで半袖でしたが、秋は気持ちよく過ごせたと思います。紅葉の彩りを欠いた10月ですが、ある言葉に温かい色を彩ってもらいました。

中津に行ったときのことです。駅を出て迷っていたら、「どこに行くの？」とお婆さんが声をかけてくれました。バス乗り場に案内してくれて、「分からないときは、誰かに聞くのが一番早いよ」と言ってくれました。

社会人になって7年目。「分からないときは、誰かに頼るよりも自分で何とかしろ」と言われ続けてきた気がします。どちらが正解かは場合にもよりますが、心がほんわきました。



秋色に染まったの柿



登った！



行くぞ！（車窓より）

From our Reporters

国際交流員だより



当たり前のこと感謝する

韓国国際交流員 アン・スヨン



最近、当たり前だと思っていたことについて、改めて考える機会がありました。

父が日本に来てくれた時、一緒に大分県の九重町・豊後大野市を訪れました。貴重な時間の中で、日常に慣れすぎて気づかなかった自然の風景や父の存在が、改めてかけがえのないものだ、感謝の気持ちが込み上げてきました。

海外で一人暮らすことは、まさに冒険そのものです。しかし、愛する人々や家族がいるからこそ、感謝の心を持ち恵みの中で日々を過ごすことができます。暖かい日差しや涼しい風、そして毎日食事をいただけるということが、「当たり前」から「ありがたい」ことへと変わったことを、心から実感しました。また、現在の仕事も当たり前の日常ですが、その中に感謝を見出すことで、より大きな喜びを感じられます。一日一日を感謝しながら…



美しい大分の自然



父と素敵な思い出を



当たり前→ありがたい



楽しみにしていた映画

アメリカ国際交流員 リン・アリシアナ



私は普段あまり映画館に行きません。なぜならニューヨークはチケットが高いし、家でゆっくり観るほうが好きだからです。でも今回はずっと楽しみにしていた映画だったので観に行くことにしました。作品名は『羅小黑戦記Ⅱ ぼくらが望む未来』で、2019年公開の続編です。若い黒猫の妖精・シャオヘイが、強くて頼りになる人間のムゲンと出会い、人間と妖精が共に生きる世界でどう生きていくかを学んでいく、中国のファンタジーアニメ映画です。ジブリ作品や中国ファンタジーが好きな人にはとてもおすすめです。中国語のオリジナル音声でも、日本語吹替でも観られますよ！

今回、日本で映画を観るのは2回目だったのですが、エンドロールが終わるまでみんな席を立たないのにびっくりしました。アメリカだと、エンドロールが始まったら多くの人がすぐに帰ります。座席は快適でしたが、リクライニングできないのには驚きました。ニューヨークの映画館は、古いところでなければリクライニングできる席が普通です。それに、映画グッズのコーナーがあるのも面白かったです。アメリカの映画館ではグッズはあまりなくて、映画を観るだけという感じです。上映中の映画に合わせた限定のコラボフードやドリンクがあるのもすごいなと思いました。今回は全部売り切れて注文できませんでしたが、次は絶対に試してみたいです。

劇場は満席ではありませんでしたが、思ったより多くの人が観に来ていて、外国映画が日本で人気だとは知りませんでした。大分には外国映画を上映してくれる映画館があって、本当にうれしいです。これから常連になりたいです。



チケット片手に、気分アがる



What's Up, OITA!



からのお知らせ

国際交流員を派遣します！

国際政策課では、**国際交流員（CIR）**を講師として派遣し、各国の文化や生活について学べる機会を提供しています！世界の文化や暮らしを楽しく学んでみませんか？ **派遣可能国際交流員：イギリス、アメリカ、中国、韓国**

概要

- 対象 大分県内の学校・地域団体・公民館など
- 時間 平日9:00～17:00（応相談）
- 内容 国際交流員出身国の文化・観光・食事・遊びなどを紹介！
- 費用 派遣費用は無料！（交通費や材料費は負担）

申込方法

- ①まずは電話で相談！
- ②日程と内容を確認し、1ヶ月前までに申込書を提出
- ③CIRとメール等で打ち合わせ
- ④当日、CIRが訪問！楽しく学びましょう

注意事項

派遣日時や内容等により、お受けできない場合がございます。詳細はお気軽にお問い合わせください！



国際交流員の派遣は
こちらから



あなたの活動を世界に紹介しませんか？

県人会の活動（懇親会等）や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！（様式は任意です）

募集中！



【記事提供／お問い合わせ先】
国際政策課 担当：藤川、中山
【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp